

平成31年2月末の被害状況等について

被害認知状況

17件、3,591万円 (前年同期比 - 15件、- 1,059万円)

	平成31年2月末		平成30年2月末		比較増減	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
実質的被害	17	3,591万円	32	4,650万円	-15	-1,059万円
なりすまし詐欺	17	2,860万円	32	4,107万円	-15	-1,247万円
振り込め詐欺	16	1,860万円	30	3,938万円	-14	-2,078万円
オレオレ詐欺	10	320万円	14	1,280万円	-4	-960万円
架空請求詐欺	6	1,540万円	9	1,413万円	-3	+127万円
融資保証金詐欺			4	596万円	-4	-596円
還付金等詐欺			3	649万円	-3	-649円
振り込め詐欺以外	1	1,000万円	2	169万円	-1	+831万円
金融商品等取引	1	1,000万円			+1	+1,000万円
異性との交際あっせん			2	169万円	-2	-169万円
キャッシュカードによる払出被害	(7)	731万円	(4)	543万円	(+3)	+188万円

- オレオレ詐欺：警察官等かたり9件、息子等かたり1件
- 架空請求詐欺：6件中4件（66.7%）が有料サイト利用料金名目

金融機関等による未然防止

10件、701万円 (前年同期比 - 5件、- 1,253万円)

予兆情報認知状況

587件 (前年同期比 +156件)

区分	態様	平成31年2月末	平成30年2月末	比較増減
オレオレ詐欺		587件	431件	+156件
	息子等かたり電話	165件	130件	+35件
	警察官等かたり電話	29件	115件	-86件
	警察官等かたり電話	136件	15件	+121件
架空請求詐欺		413件	266件	+147件
	メール	90件	187件	-97件
	はがき	303件	75件	+228件
	名義貸し電話	1件	2件	-1件
	その他電話	19件	2件	+17件
還付金等詐欺	電話	9件	35件	-26件

- 警察官等かたりの予兆電話及び架空請求はがきの多発傾向が継続中

Topics

《被害者の隙を見てキャッシュカードを窃取する手口について》

警察官や金融庁職員を装って被害者に電話を架け、「キャッシュカードが不正に利用されている」などと告げて、キャッシュカードを準備させた上で、受取役の犯人（受け子）が被害者方を訪問し、隙を見てキャッシュカードを別のカードにすり替えるなどして窃取する手口です。 ※罪名は「窃盗」となり、なりすまし詐欺の統計には含んでいません。

全国的に被害が相次いでおり、県内でも本年2月末現在で2件、190万円の被害を認知しています。

今後も、同種事件の発生が懸念されますので、被害の未然防止を呼び掛けています。

